

B型肝炎ワクチンの接種について

B型肝炎の予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。なお、原則として接種される方の接種希望確認ができない場合は接種できませんので予めご了承ください。

1. 接種対象について

B型肝炎ウイルス保有者(特にHBe抗原陽性者)の体液(特に血液)に接触する可能性が高い方は、予めB型肝炎ワクチンを接種して、免疫をつけておくことが望まれます。

接種に際しては、予め被接種者のHBs抗原、HBs抗体を測定し、両方ともに陰性の方に対して接種します。

2. 接種時期について

年間を通じて接種できます。基礎免疫として3回接種すると免疫ができることが多く、接種は原則として3回(初回、1ヶ月目、6ヶ月目)行います。2回の接種によりHBs抗体陽性となった方も、さらに強い免疫を獲得するために3回目の接種をうけてください。

【接種が不適當な方(予防接種を受けることが適當でない方)】

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはいけません。

1. 明らかな発熱を呈している方。
2. 重篤な急性疾患に罹っていることが明らかな方。
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方。
4. 上記にあげる方のほか、予防接種を行うことが不適當な状態にある方。

【他のワクチンとの接種間隔】

生ワクチンの接種を受けた方は、通常、27日以上、また他の不活化ワクチン(インフルエンザ等)の接種を受けた方は、通常、6日以上間隔を置いて本剤を接種してください。

【接種を受けるときの注意】

1. 体の調子の良い時にだけ受けてください。
2. 体温は接種を受ける日に必ず計ってください。

【接種後の注意】

1. 接種当日は激しい運動を避けてください。(接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください。)
2. 接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、発赤したりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
3. 接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診察を受けてください。